

2025 年 12 月 11 日

コムシスホールディングス株式会社

国際的な環境非営利団体 CDP より「気候変動」分野において、 最高評価「A リスト」企業に初選定されました

コムシスホールディングス株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長 田辺 博）は、国際的な環境非営利団体である CDP（本部：英国ロンドン）による 2025 年度の調査において、「気候変動」分野で最高評価の「A リスト」企業に初めて選定されました。

CDP の評価は、世界の機関投資家が企業の環境活動を判断するグローバルスタンダードとされており、本年度は過去最高となる 24,800 社を超える企業が回答しました。その中で当社は、気候変動分野における戦略、目標設定、および情報開示の透明性などが高い水準にあると評価され、「A リスト」に選定されました。

当社グループは、【「豊かな生活を支えるインフラづくり」で社会の発展に貢献します】という経営理念のもと事業を推進しています。気候変動への対応をその実践に向けた最重要課題の一つと位置づけ、持続可能な社会基盤の構築に取り組んでいます。

具体的には、2030 年度に向けた温室効果ガス（GHG）排出削減目標（2020 年度比：Scope 1+2 を 42% 削減、Scope 3 を 25% 削減）について、パリ協定の「1.5℃水準」と整合する目標として SBT（Science Based Targets）認定を取得し、着実に推進しています。また、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けた中間マイルストーンとして、2025 年度までに Scope 2（自社で使用する電力等に伴う排出）の GHG 排出量を実質ゼロにする目標を追加設定し、非化石証書の活用拡大などを通じて取り組みを加速しています。さらに、こうした活動を支える基盤として、2025 年にはグループ全体の環境ガバナンス体制をより強固なものにするとともに、TCFD 提言に基づく気候変動リスク・機会の財務的影響に関する開示を、有価証券報告書や統合報告書において拡充するなど、透明性の高い情報開示を推進しています。

■ CDP について

CDP は、企業や自治体の環境情報開示を促進する国際的な非営利団体です。世界の主要な機関投資家と連携し、気候変動、水資源保護、森林保全に関する情報開示を企業に働きかけています。CDP のスコアは、投資判断や調達活動において、環境面でのリーダーシップを示す指標として広く活用されています。

■ 関連リンク

- コムシスホールディングス サステナビリティサイト：

<https://www.comsys-hd.co.jp/sustainability/>

- コムシスグループの気候変動への取り組み：

<https://www.comsys-hd.co.jp/sustainability/climate.html>

以上

～お問い合わせ先～

コムシスホールディングス株式会社

TEL：03-3448-7190 URL：<https://www.comsys-hd.co.jp>